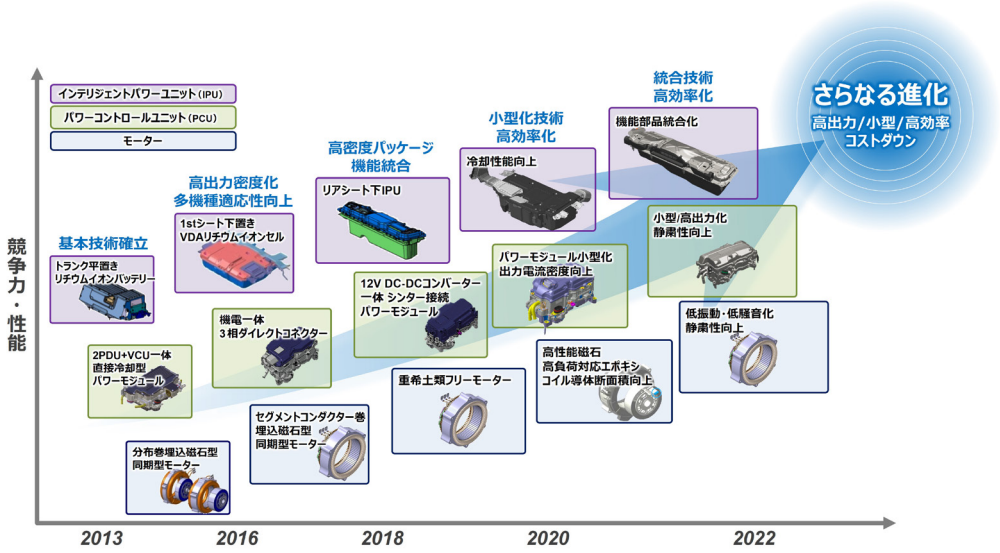
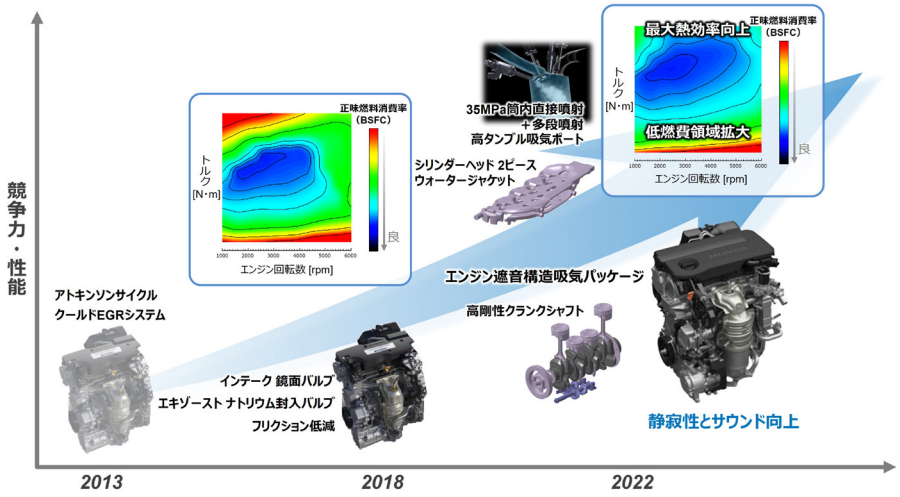
電動化の未来を見据え、たゆみなく進化を続けるe:HEV。

Hondaは2013年、エンジンで発電しモーターで走行するシリーズハイブリッド方式を基本としながら、バッテリー電力のみで電気自動車として走行する「EVドライブモード」や、エンジンとタイヤを直結しガソリン車として走行する「エンジンドライブモード」を備えた画期的な2モーターハイブリッドシステム「SPORT HYBRID i-MMD」を完成させました。以来、モーターやエンジンはもちろん、駆動用バッテリーを搭載したインテリジェントパワーユニット（IPU）、電力を総合的に制御するパワーコントロールユニット（PCU）など要素技術をたゆみなく進化させ、環境性能のみならず、操る喜びや静粛性、パッケージ効率など、Hondaのクルマづくりに求められるすべての性能を向上。2020年には新たな名称「e:HEV」を与え、電動化の基幹技術として進化を加速させてきました。新開発「スポーツe:HEV」は、Hondaがこれまでに培ってきた電動化技術とエンジン技術のすべてを結集して完成させた最新のハイブリッドシステム。優れた燃費性能と圧倒的な操る喜びが、電動化の未来に新たな扉を開きます。

■主要電動化技術のあゆみ



■e:HEV用エンジンのあゆみ